

10月活動評価・課題

活動の感想

- ・調理ボランティアメンバーが定着してきた。3時から来てくださり、やることリストをどんどん自主的にこなしてくださっています。ボランティアで来るご婦人はすでに子育ても終わり、ご主人が亡くなられおひとり暮らしの方が多いです。
- ・リピーター参加の方に誘われて初めて参加された方が多い月でした。
- ・高校生がボランティアとして子どもケアをしてくださいました。現代の若者の特徴なのか、言わないと何をしたらよいのかわからない様子なときもあったので、手伝ってもらいたいことを具体的に伝えなければならぬと思われました。
- ・参加されているママさんパパさん方が配膳をしてくださったり、食後の食器洗いに自然なかたちで加わってくださっています。
- ・こどもたちが、普段下校後一緒に遊ぶ時間がなかったり、ましてや、一緒に夕食を食べる機会は減多にないので、子ども同士で食事して、食後もたっぷり遊んで帰るのはとても楽しいようで、保護者の方々もそれを喜んでおられる。
- ・10月24日 ラヂオ盛岡の「カフェ・ド・カプチーノ」という番組で「せいなん」を取り上げていただき、インタビュー出演しました。たくさんの参加者や関係者、友人知人が聴いてくださいました。
- ・10月のマシェリ誌にも載せてくださいました。
- ・卵200個の寄付があり、ゆで卵を混ぜたサラダにしました。感謝です！
- ・たくさんのキャベツと大根の寄付もあり、塩キャベツとスープに使わせていただきました。感謝です！
- ・その他にもトイレトペーパーや絵本の寄付を感謝します。
- ・他県からもパン屋さんからパンの差し入れ、たくさんの台拭きの寄付がありました。感謝！
- ・今回で9回行われたが、徐々に「せいなん」の働きが広められつつあり、関心を持っている方々が何かをしたいという気持ちが伝わってくる月でもありました。

今後の課題

- ・まだ「こども食堂」はこども対象だと思っている方が多いので、大人が中心にこどもたちの居場所を作っていく働きであることを訴えていきたいです。
- ・ボランティア（こどもケア、調理）の募集をどのように広めていったらよいのか検討課題です。
- ・広報「もりおか」にも掲載いただけると感謝です。